

Technology to Inspire Innovation

2015年度決算説明会

2016年4月27日

6807 日本航空電子工業株式会社

I. 2015年度決算

II. 2016年度業績見通しと事業方針

I . 2015年度決算

(2015年4月～2016年3月)

事業環境

- ▶ 下半期より中国経済の減速、資源価格下落等によるマクロ経済環境悪化の影響が顕在化
- ▶ スマートフォン市場の成長鈍化に加え、設備投資需要の低迷により産機・インフラ市場の厳しさが継続

当社業績

- ▶ 携帯機器向けコネクタ売上が4Qに大きく減少
- ▶ 産機・インフラ市場向け売上也前年比減少
- ▶ 売上高が減少する中、2016年度および将来の成長に向けた開発投資、設備投資は計画通り実施
- ▶ 1月公表の修正予想値は達成

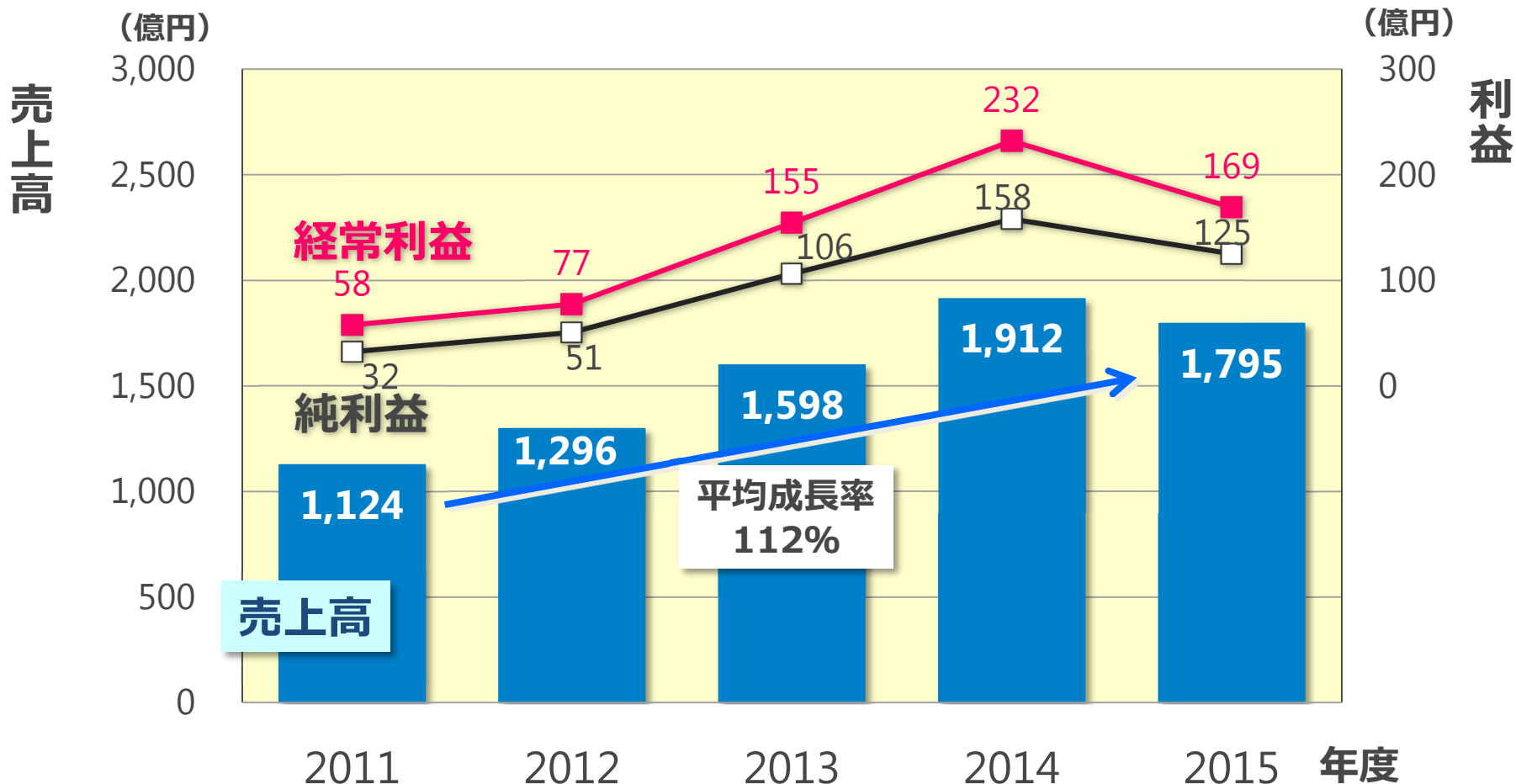
1-2. 全社売上・利益

	2013年度	2014年度	2015年度	前年度比 (2014/2015比較)	
				(億円)	(%)
売上高	1,598	1,912	1,795	-117	94%
営業利益	165	259	179	-80	69%
対売上比	10.3%	13.5%	10.0%		
経常利益	155	232	169	-63	73%
対売上比	9.7%	12.1%	9.4%		
純利益	106	158	125	-33	79%
対売上比	6.6%	8.2%	7.0%		

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

1-3. 全社売上・利益推移

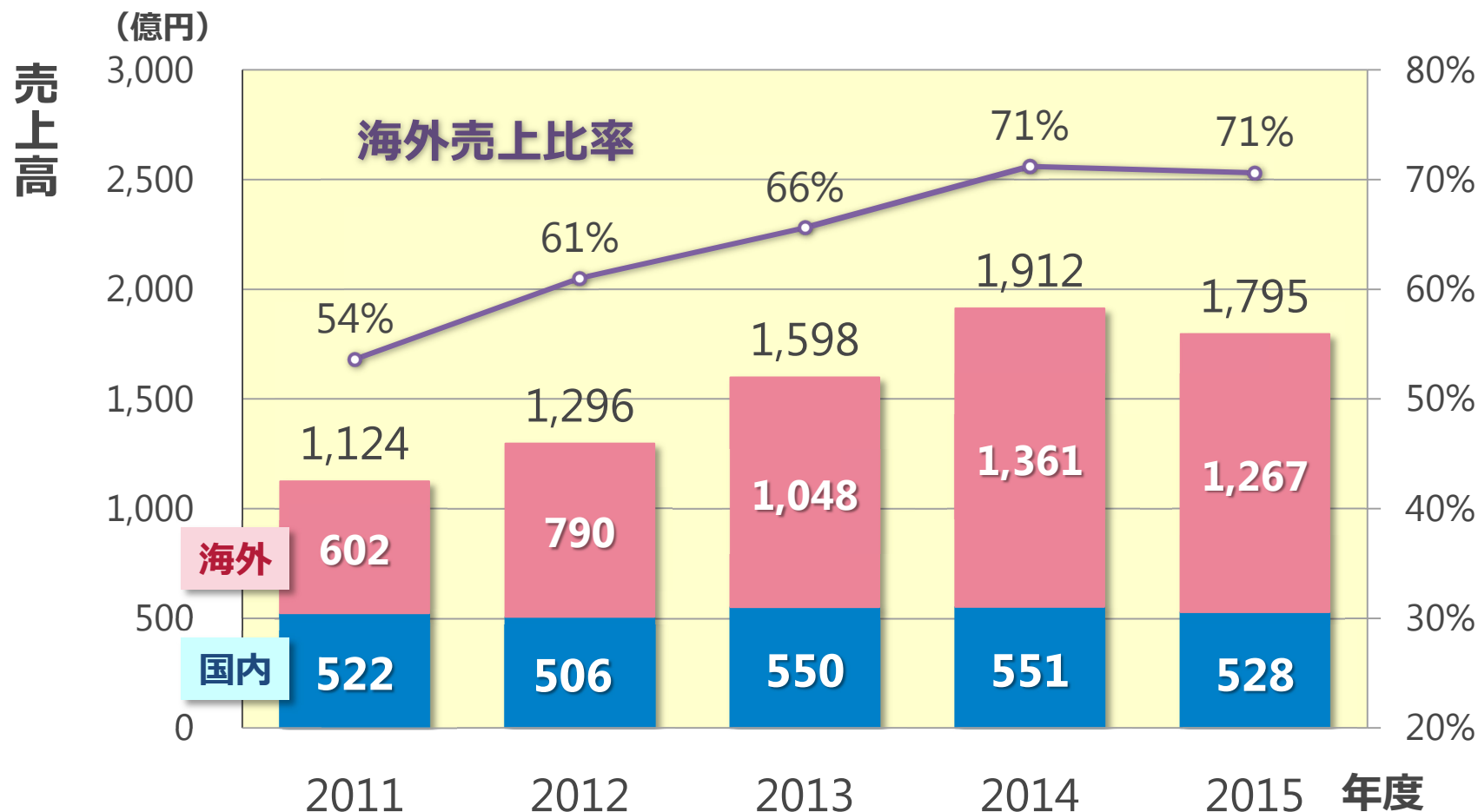
- ▶ 最高業績の更新はならなかったものの、2013年度を上回り過去2番目の業績
- ▶ 2011年度以降の平均成長率は112%



※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

1-4. 全社国内・海外別売上推移

- ▶ スマートフォン市場の減速などにより海外売上高が減少
- ▶ 国内は産機・インフラ市場の停滞により減



※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

1-5. 全社市場別売上高

- ▶ 自動車向けは堅調に推移し、2桁成長を継続
- ▶ 携帯機器向けに加え、FA・工作機械、鉄道、油田掘削関連の市場低迷により産機・インフラ向けも減少

	2013年度		2014年度		2015年度		前年度比 (2014/2015比較)	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
携帯機器	573	36%	804	42%	707	39%	-97	88%
自動車	525	33%	604	32%	684	38%	80	113%
産機・インフラ	270	17%	296	15%	246	14%	-50	83%
その他	230	14%	208	11%	158	9%	-50	76%
計	1,598	100%	1,912	100%	1,795	100%	-117	94%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

2-1. 事業部門別売上高

	2013年度		2014年度		2015年度		前年度比 (2014/2015比較)	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コネクタ	1,381	86%	1,691	89%	1,589	89%	-102	94%
UIS	63	4%	71	4%	80	4%	9	113%
航機	146	9%	142	7%	118	7%	-24	83%
その他	8	1%	8	0%	8	0%	0	96%
計	1,598	100%	1,912	100%	1,795	100%	-117	94%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

2-2. 事業部門別営業利益

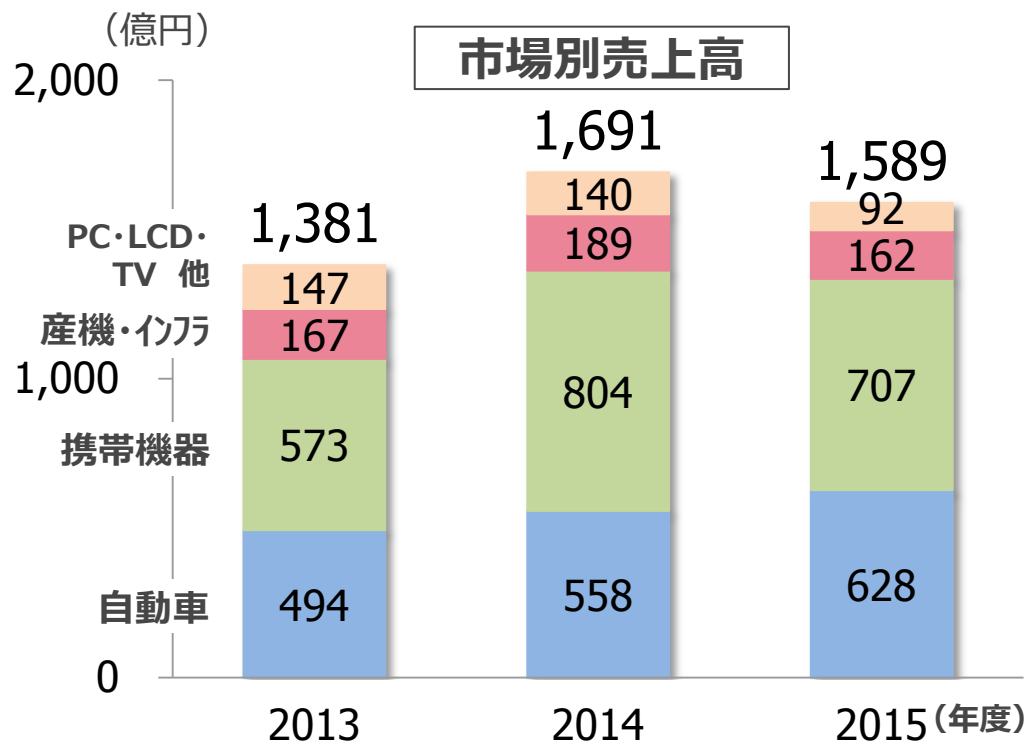
	2013年度		2014年度		2015年度		前年度比 (2014/2015比較)	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コネクタ	193	14.0%	287	17.0%	221	13.9%	-66	77%
UIS	-0	-0.5%	4	5.1%	11	13.2%	7	292%
航機	9	6.3%	7	4.9%	-10	-8.7%	-17	—
配賦不能 他	-37	—	-39	—	-43	—	-4	—
全社	165	10.3%	259	13.5%	179	10.0%	-80	69%

※ 2013年度、14年度、15年度の（％）は売上高営業利益率。

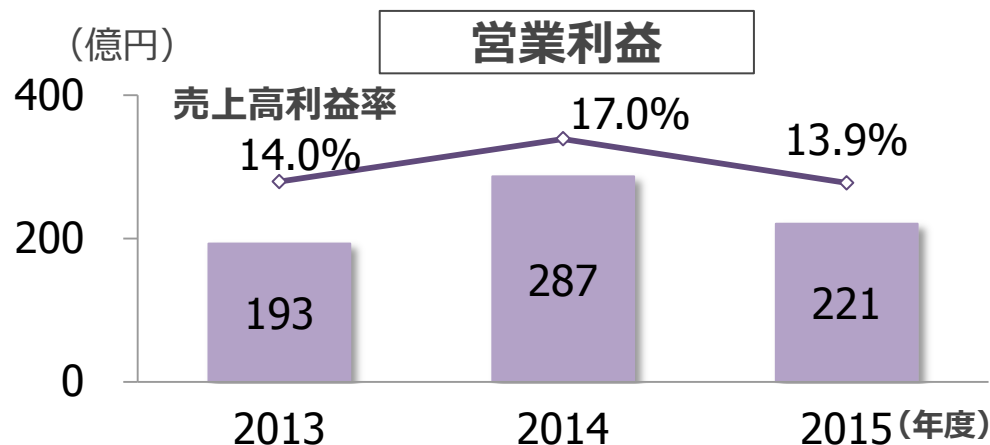
※ 前年同期比の（％）は伸長率。

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

2-3. コネクタ事業

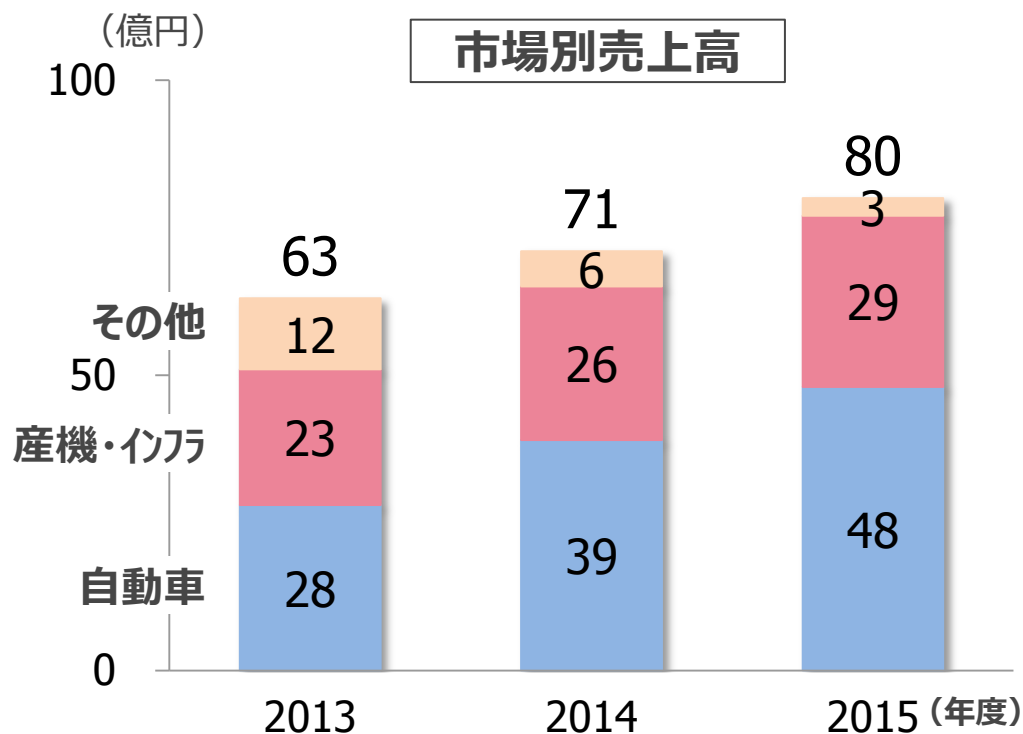


- ▶ 自動車向けは2ケタ成長継続 (111%)
- ▶ 携帯機器向けは特に4Qに、市場環境が悪化し前年比減
 - ・ 北米主要顧客の所要減少
 - ・ 中国ローカルメーカー向けは計画を下回るものの、前年比では増加
- ▶ 産機・インフラは、国内FA・工作機械メーカー向けを中心に減



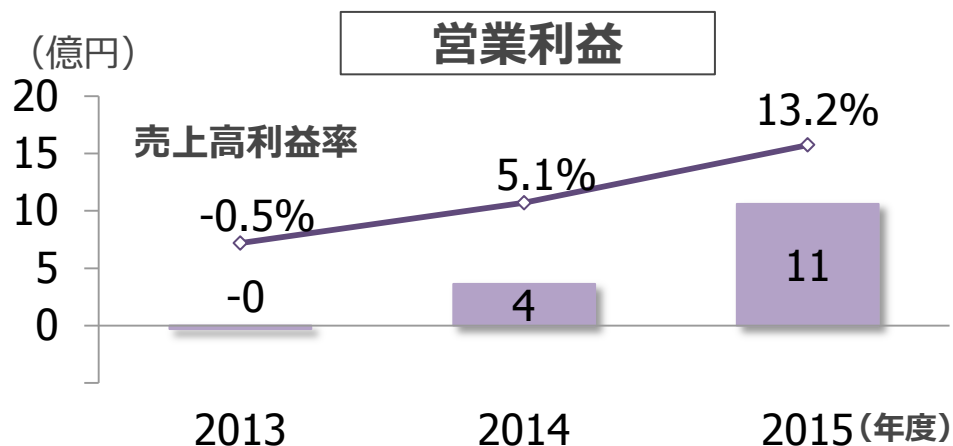
- ▶ 売上減少に加え、16年度以降に向けた開発・生産投資により営業利益率は13年度並みに。

2-4. UIS事業



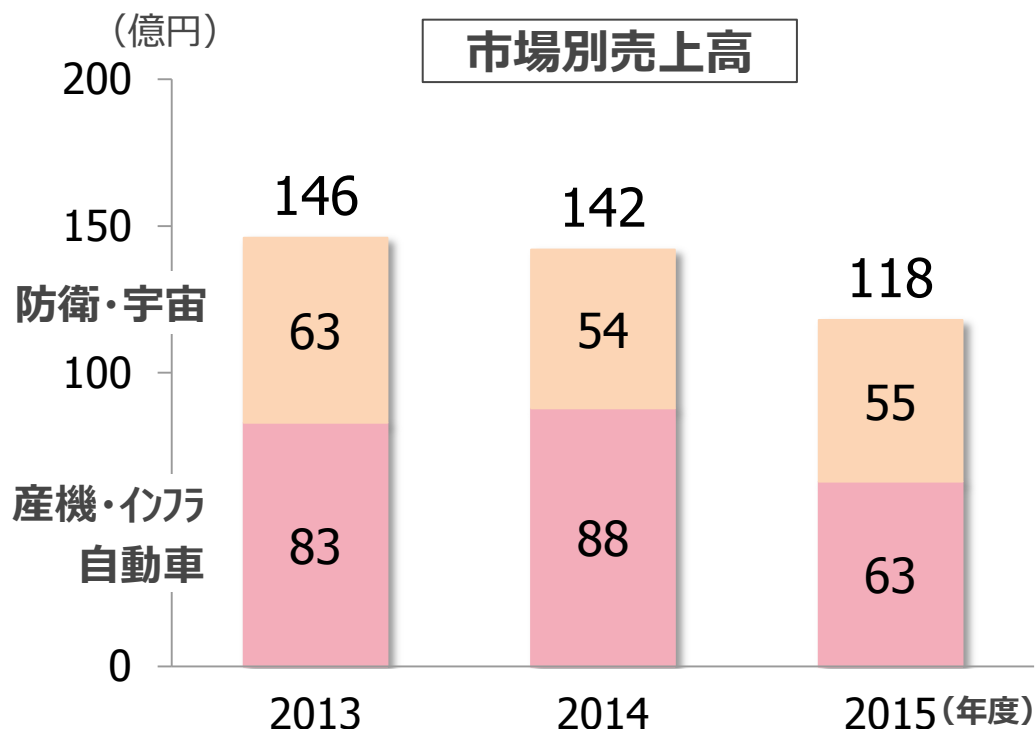
前年度比 113%

- ▶ 車載向け静電タッチパネル事業が順調に拡大
(前年比128%)
 - ・ 日系主要顧客での採用拡大
 - ・ 所要に対応した生産力増強
- ▶ 産機・インフラは、厳しい市場環境の中、重点市場への拡販により前年比増収

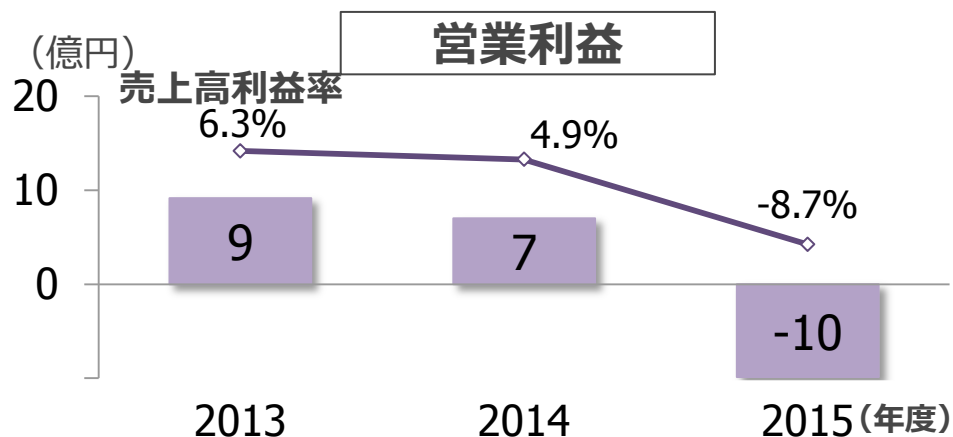


- ▶ 静電タッチパネルの売上増、生産性向上などにより、利益率は大幅に向上

2-5. 航機事業



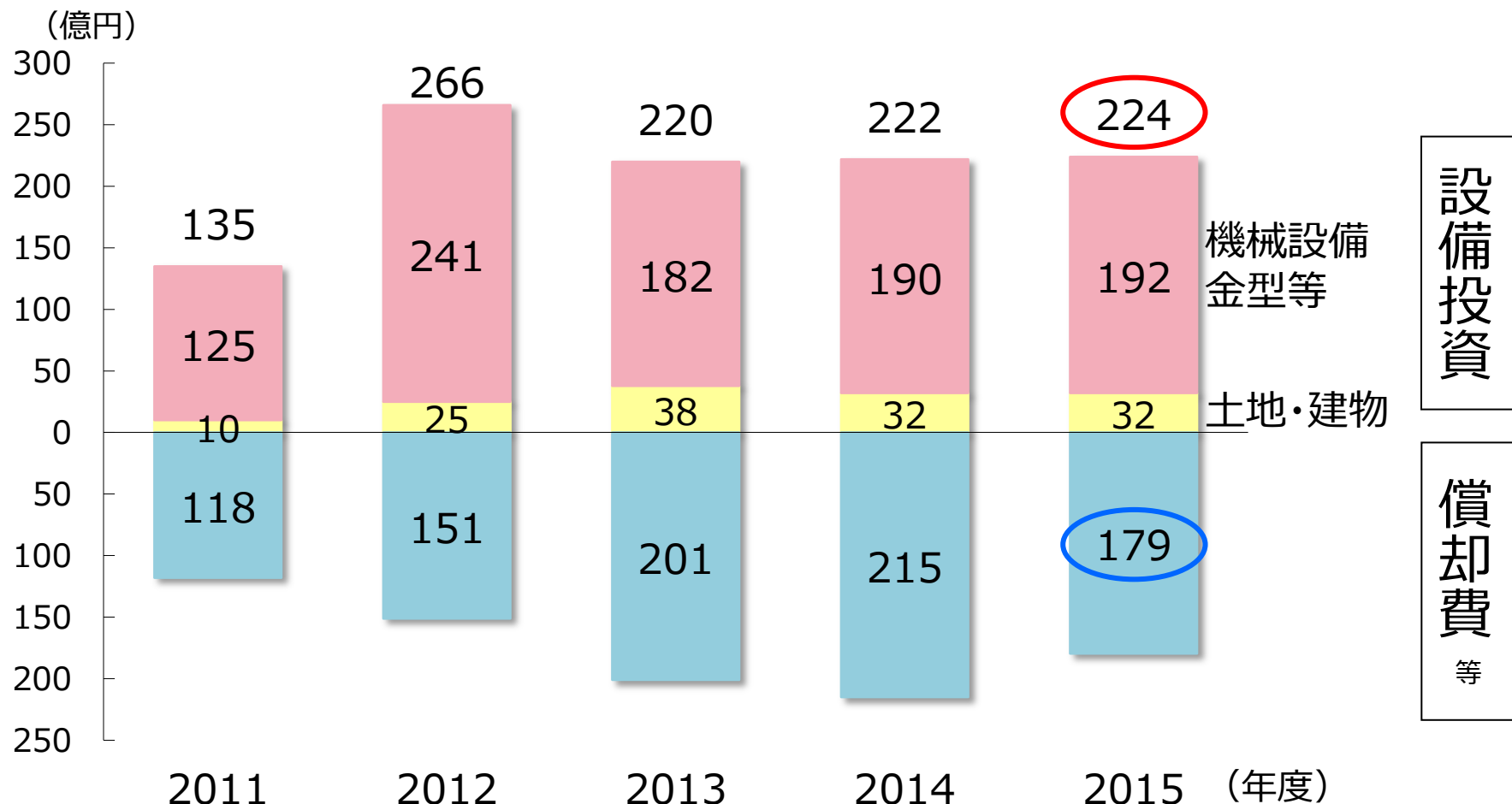
- ▶ 防衛・宇宙は、プログラム端境期中で、前年比増収を確保
- ▶ 産機・インフラでは、原油価格低迷により、海外大手油田掘削向けが大幅減少
(加速度計、センサパッケージ)



- ▶ 売上の減少により営業赤字
- ▶ 下期は大きく改善するものの黒字転換には至らず
 - ・ 上期：▲8億円
 - ・ 下期：▲2億円

3. 全社設備投資・償却費

- ▶ 積極的な投資が、当社のこれまでの成長を実現
- ▶ 2015年度も2016年度製品向けを含めて投資水準を維持



Ⅱ. 2016年度業績見通しと事業方針

(2016年4月～2017年3月)

携帯機器

- ▶ スマートフォン市場は成熟化に向かう中、機能の進化が継続

自動車

- ▶ グローバル生産台数は一桁前半の増
- ▶ ADAS、コネクテッドカーなど、電装化の進展により電子部品の市場は堅調に拡大

産機・インフラ

- ▶ 市場全体では厳しさが継続
- ▶ IoT関連、5G基地局等、将来に向けた成長機会は拡大

※ ADAS (Advanced Driving Assistant System) : 先進運転支援システム
IoT (Internet of Things) : モノのインターネット 5G : 第五世代移動通信システム

2. 2016年度の事業方針

▶ 当社の経営基本方針

- グローバルマーケティングと技術開発力強化に基づく的確な玉出しによる事業拡大
- 内製化を軸とした技術革新・経営革新の両輪による収益力強化
- 成長投資を継続し、収益に繋ぐ

▶ 2016年度の重点事業方針

- 戦略商品の販売拡大、利益確保
- 強みを持った製品の市場展開加速
- 将来に向けた成長機会への取組み強化



厳しい事業環境の下でも成長路線を継続

3-1. 全社業績見通し

	2015年度	2016年度					
		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,795	932	-39	96%	2,100	305	117%
営業利益	179	68	-56	55%	190	11	106%
対売上比	10.0%	7.3%			9.0%		
経常利益	169	60	-55	52%	175	6	103%
対売上比	9.4%	6.4%			8.3%		
純利益	125	44	-41	52%	130	5	104%
対売上比	7.0%	4.7%			6.2%		

設備投資（年間）

220

償却費（年間）

190

（固定資産の除却含む）

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

3-2. 事業部門別売上見通し

	2015年度	2016年度					
		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
コネクタ	1,589	826	-50	94%	1,870	281	118%
UIS	80	38	-3	93%	82	2	102%
航機	118	64	14	127%	140	22	119%
その他	8	4	0	96%	8	0	104%
計	1,795	932	-39	96%	2,100	305	117%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

3-3. 市場別売上見通し

	2015年度	2016年度					
		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
携帯機器	707	388	-37	91%	900	193	127%
自動車	684	338	-4	99%	740	56	108%
産機・ インフラ	246	133	6	105%	300	54	122%
その他	158	73	-4	95%	160	2	101%
計	1,795	932	-39	96%	2,100	305	117%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

市場動向

- ▶ スマートフォンの進化、高機能化は継続
 - ・ 新興国では今後3G化、LTE化が進展（現在も世界の携帯契約の約半数はGSM）
 - ・ ハイエンド製品の一層の高機能化、ローエンド製品の機能向上
- ▶ 引き続き多くの電子部品を必要とする巨大な市場

端末技術動向

- 価格を維持しつつ高機能化
 - 薄型化がさらに進展
 - USB Type-C™普及期へ
- 部品へのニーズ
- 堅牢性を維持しつつ小型・薄型化
 - ローコスト

当社の強み

- グローバルマーケティングと多くの保有技術をベースとした製品開発力（狭ピッチ、低背、小型化技術など）
- 内製化を軸とした自動化生産ラインと継続的な技術革新・改善活動
→ 高品質、ローコスト
- 世界トップクラスの実績（基板対基板コネクタ
累計販売数 150億個を突破）

4.市場別戦略①携帯機器 取組み

- ▶ USB Type-C™コネクタ DX07バリエーション拡充
- ▶ 強みを活かした製品ラインナップの拡充
 - ・ 堅牢性、使い易さを追求した小型・低背先端製品
 - ・ ローエンドスマホ向けローコスト戦略製品
- ▶ 新興国市場に向けた拡販強化

Micro SIMカード用コネクタ



SF58シリーズ

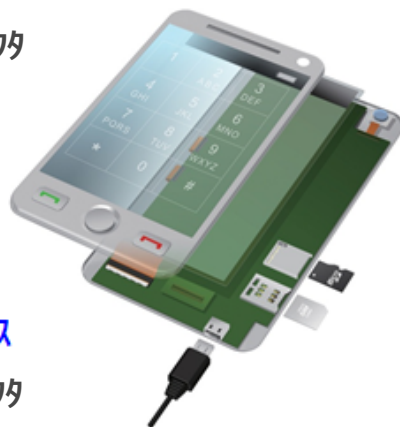
業界最低背・最小面積クラス

Nano SIMカード用コネクタ



SF70・72シリーズ

業界最低背・最小面積クラス



DX07シリーズ

USB Type-C
信号速度10Gbps
定格電流最大5A

基板対基板用コネクタ

業界最小ピッチ・最低背クラス



WP7シリーズ

0.4mmピッチ
嵌合高さ0.7mm



WP21シリーズ

0.35mmピッチ
嵌合高さ0.6mm

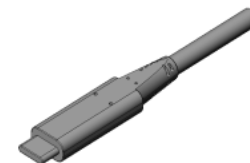


WP25Dシリーズ

0.35mmピッチ
嵌合高さ0.7mm
電源端子付

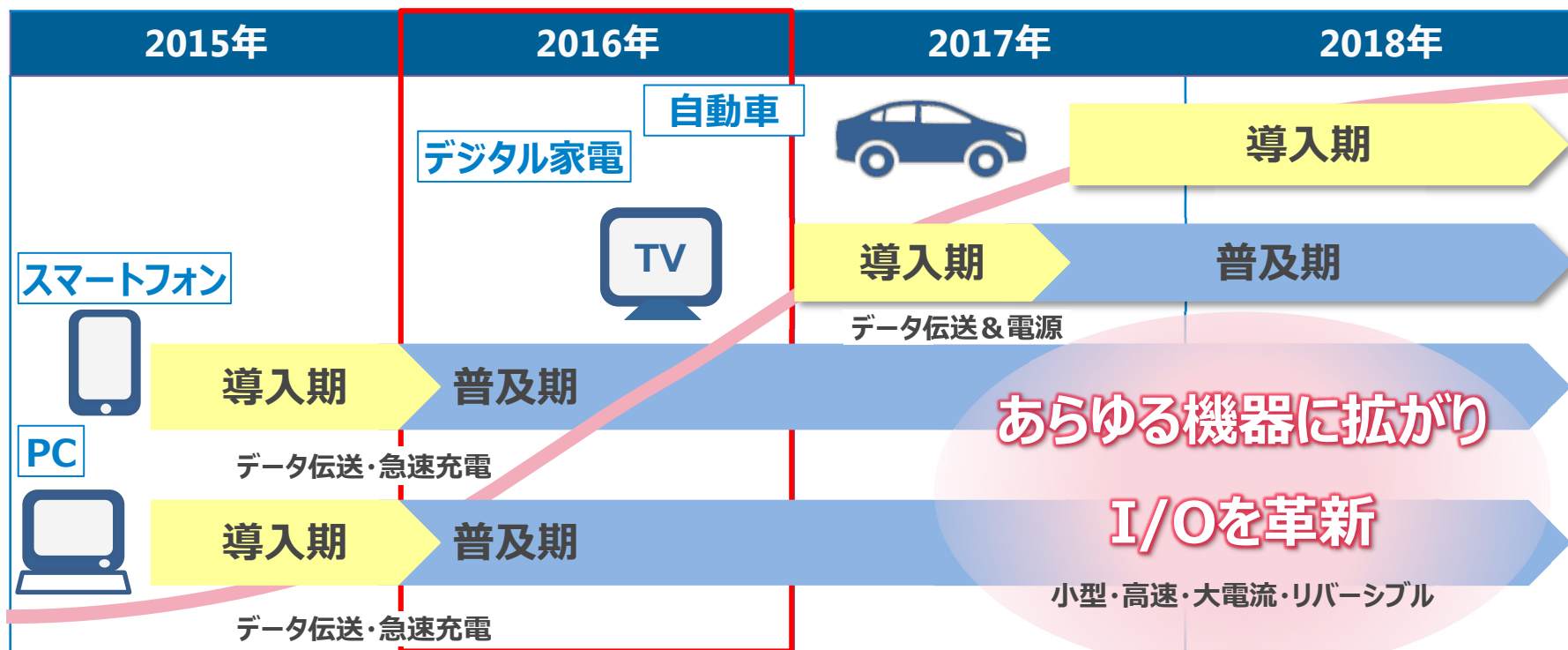
DX07ハーネス
ラインナップ拡充

Type-C ⇔ Type-C
ジェネレーション2
(10Gbps) など、



- ▶ 15年度4Qは在庫調整・生産調整により大幅売上減
⇒ 16年度2Q以降、市場の回復を見込む
- ▶ 16年度2Q～下期に大幅な売上増を計画
 - USB Type-C™ 市場の拡大（DX07シリーズ）
 - 中国・新興国向けの拡販成果具体化
 - 北米顧客の需要回復
- ▶ 一部新規商品で、ケーブル、チップなど外部購入品が増加見込
 - 売上高利益率に影響
 - ボリューム拡大と生産効率向上で、利益絶対額の増加を図る

USB Type-C™コネクタの普及イメージ



▶ DX07バリエーション拡充

- ・ レセプタクル、プラグコネクタに続き、USB認証取得ハーネスをラインナップ°
- ・ USB3.1 Gen2 (10Gbps) 認証取得完了

▶ グローバル生産体制強化

ADAS/自動運転システム
コネクテッドカーなど
自動車のエレクトロニクス化

通信

センシング

映像処理
(カメラ)

- 接続部位の増加
- 高速伝送ニーズ
- ヒューマンインターフェースの洗練

自動車市場での当社の強み

▶ 高速伝送技術

民生市場で培った高速伝送技術が、車載の高機能化に伴いさらに活用可能

▶ 車載メーカーへの幅広いアプローチ

コネクタ、UIS、航機の各事業で、カーメーカー、ティア1、ティア2それぞれと幅広い関係を保有

▶ 品質

ISO/TS16949認証による自動車業界に対応した品質システムの運用をはじめ、各カーメーカー仕様に対応

4.市場別戦略②自動車 取組み

- ▶ 車載向け情報系コネクタの更なる拡充
HDMI、カメラ用、USB用など、高速伝送用コネクタリリース
- ▶ 欧州営業・技術サポート拠点の強化

車載情報通信用コネクタ

●MX62 USB3.0



●DX07 USB3.1Type-C



●MX49A/48 イーサネット



●MX50/53 HDMI



車載デジタルカメラ用コネクタ

●MX55 (カメラ)



●MX48/MX49A (LVDS)



LVDS 同軸 イーサネット版 (試作開発中)

●MX48/MX49A (イーサネット)

静電タッチパネル



レゾルバ

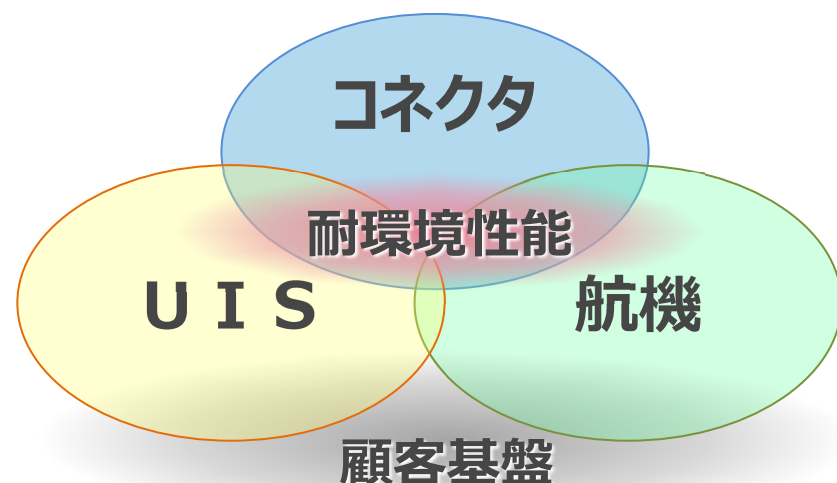


FA機器の動向

- ▶ 工場の進化：センサ高度化、ネットワーク化、ロボットの進化→スマート工場へ
- ▶ ロボット、工作機械の制御用にサーボモータの市場は中期的に拡大

通信インフラの動向

- ▶ 第5世代移動通信システム（5G）に向けた動き
 - 2019年：周波数割当 2020年：商用化にむけた検討が進む
 - 高速・大容量化、多数の端末との接続、低消費電力



当社の強み

3事業の実績で培った

- 過酷な環境下での信頼性
(温度、湿度、圧力、振動、塵埃、油等)
- 世界的な競争力を持つ国内トップ企業との関係

▶ 機器の進化に対し、当社の強みを活かした製品を提案・拡販

- ・ ワンタッチ嵌合や小型化等、特徴のあるコネクタ製品群
- ・ 操作感触技術、機構設計技術を活かした入力デバイス

F A・通信インフラ向けコネクタ

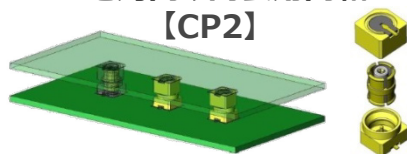
簡易接続 ⇒ 複合・ワンタッチ嵌合
【JB10・KN01】



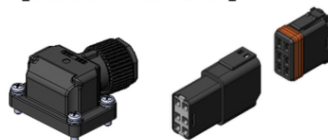
産機業界標準互換
【JL10・JL04V】



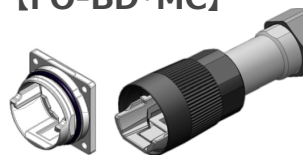
基地局向け内装用同軸
【CP2】



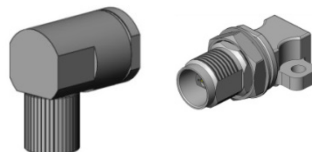
モータ内蔵 ⇒ 低背・中継
【KN5・HB01】



光インターフェースコネクタ
【FO-BD・MC】



アンテナ用同軸
【N・TNC・SMA】

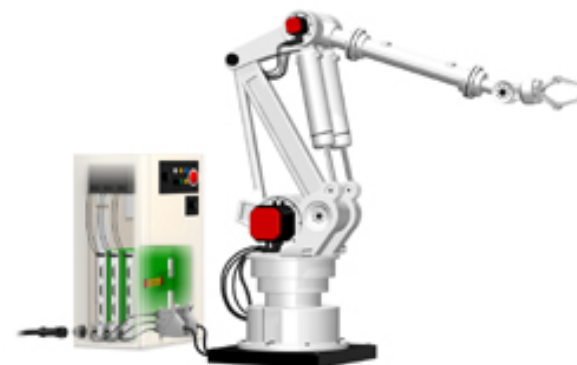
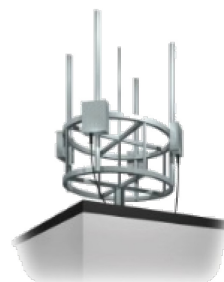


入力デバイス（UIS事業）

ティーチングペンダント



半導体製造装置、工作機械向け
操作パネル



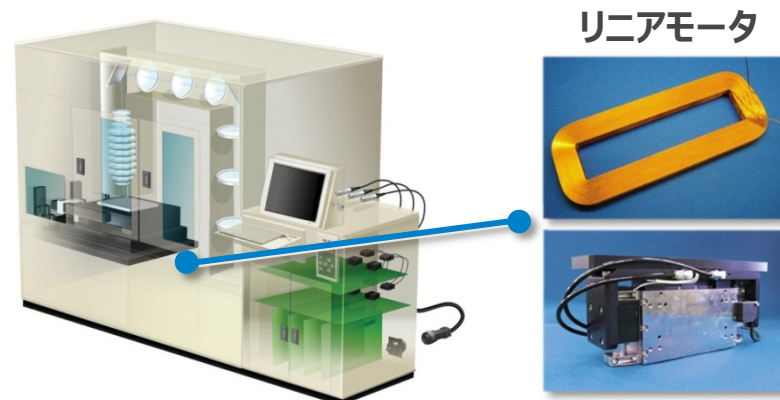
4. 市場別戦略③産機・インフラ（航機）

▶ 航機民需事業最大のSBUである マシナリ（産業機械）向け事業を 前年比約40%拡大

- 半導体/液晶露光装置向けリニアモータの事業拡大
（高精度・高速な位置制御用）
 - IoT化等により活況の半導体市場での売上拡大
 - 適用マーケットの拡大

▶ “モーションセンス&コントロール技術” を活かした多様な市場の開拓

- 新規顧客開拓、修理・校正事業による油田関連事業の受注確保
- IoT時代に向けた新センサビジネスへの取組み



■ 航機事業のコア技術

- 高精度モーションセンシング技術
- 高信頼性モーションコントロール技術
- 精密メカトロニクス技術
- 極限環境対応設計／評価技術

5. 総合評価試験棟竣工（5月）

- ▶ 評価試験体制を強化し、お客様に信頼される製品を提供
- ▶ 当社の品質・信頼性の象徴として事業拡大に寄与する存在へ

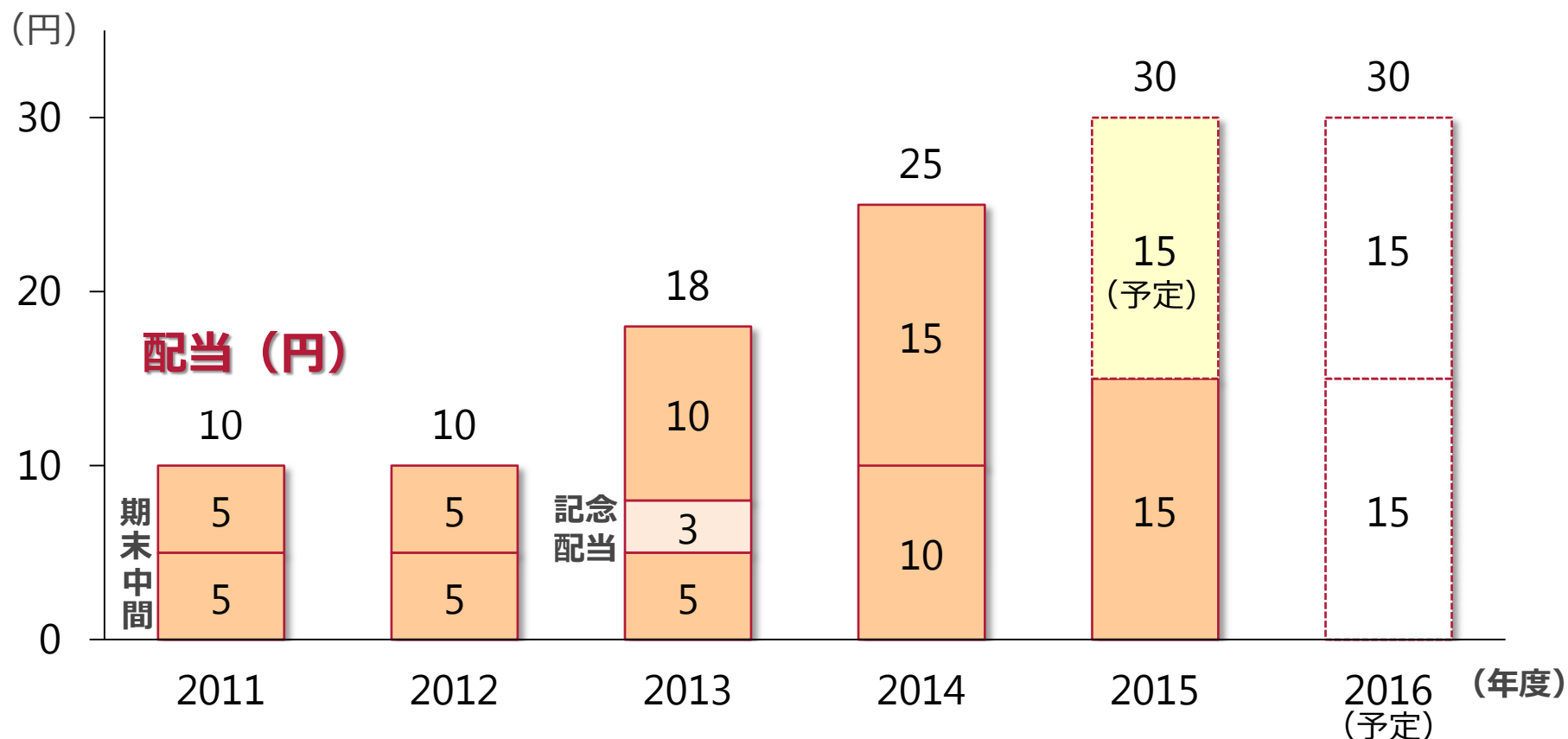
- 昭島事業所内の評価試験設備を集中。
評価試験の効率化、質の向上を図る
 - 複合環境試験（振動、温度、湿度）、引張圧縮試験、
通電試験、耐候性試験 …
- 外部からも評価され、
信頼感を持って受け入れ
られる試験棟を目指す
- まず自動車ビジネス拡大に
寄与すべく活用推進



当社は安定配当を基本方針としております

▶ 2015年度：年間30円（中間：15円 期末予定：15円）

▶ 2016年度（予定）：年間30円（中間：15円 期末：15円）



2016年度は積極的なマーケティングによって成長路線を継続し、
中期経営目標達成に向けた着実なステップとすることを目指す

1**全社売上高 2,500億円****2****純利益 200億円以上**

Technology to Inspire Innovation

JAE

＜注意事項＞

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2016年4月27現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（リフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかなですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。